

1月14日(土)vsバ'イキングス3回戦(北京首都体育館)

5-2(2-1,2-0,1-1) G11 A3-20 G71 A14-26 G26
A71-7 G20 A18 G71 A26-7

苫小牧で王子に連勝し、勢いがまったく衰えないクレインズ。環境の変わる海外遠征でもその破壊力は健在だった。1ピリ開始早々、新人王最有力の西脇(#11)がゴールを決める。8分過ぎにはライオン(#71)が得点王争いに食い込むゴールを決めると『負ける気がしない』クレインズが一気に目覚め、テレク(#26)、ダーシ(#20)またまたライオンが得点を決め5-2でバ'イキングスを下した。これにより、クレインズの3年連続レギュラーリーグ1位が確定した

1月15日(日)vsバ'イキングス4回戦(北京首都体育館)

5-3(0-0,1-0,4-3) G14 A26 G26 A71-14 G19 A18
G20-11 G14 A71

昨日のムードで連勝か。と思いきや、スロ-な立ち上がり。しかし均衡を破ったのはアジア最速の匡史(#14)。2ピリ13分にゴールを決め、得点王争いに虎視眈々。その後テレク(#26)、博史(#19)がゴールを決めるもバ'イキングスは北欧の意地か再三同点に追いつきクレインズはなかなか突き放せない。残り2分、延長か...と思われたそのとき、昨季得点王のま~しゃ(#18)が値千金のゴールを決める。バ'イキングスは6人攻撃の勝負に出たが匡史が本日2ゴール目となるインフティをきっちり決めゲームセット。環境の変わる中でも安定した力を見せつけたクレインズ。残り2試合、きっちり白星を取ってくれ!!

1月21日(土)vsア'ニヤン・ハルワ3回戦(釧路アイスアリーナ)

5-0(2-0,1-0,2-0) G14 A26-7 G26 A7-71 G71 A3-7
G3 A34 G20 A11-23

すでにレギュラーリーグ1位を決めていたクレインズ。最終戦はホーム釧路。対戦相手のハルワには得点ランキング1位のソンドンファン(#96)、アシストランキングで1位テレクに迫るマルチネツ(#43)が！この2人には活躍させるわけにはいかない！まず先制は7分匡史(#14)がクレインズお得意のパワープレーゴール。続く9分にはキルプレーのピンチに最強オタスケマン！テレク・ブラント(#26)がゴール。2Pに入りライオン(#71)が！3Pには賢吾(#3)、ダーシ(#20)が追加点を。守っては守護神次郎(#30)が完封し見事勝利をおさめた。

1月22日(日)vsア'ニヤン・ハルワ4回戦(釧路アイスアリーナ)

3-2(1-1,1-0,0-1,1-0) G14 A71-23 G14 A23-26
G11A20-3

続く2戦目の先制はここに来て絶好調の匡史(#14)がまたもやパワープレーゴール！同点にされたものの、2P、またもや匡史が再三のパワープレーゴールで2-1。これで匡史がソンドンファン(#96)と並び29得点でランキング1位へ！しかし粘るハルワは3Pに同点に。勝負はオーバータイムへ。ルールにより4人対4人で戦うオーバータイム。この時点で勝負はあった。1SET、2SET



引けを取らないクレインズは2SETのマッチアップを利用した。そして決めたのはゴールテンルキー西脇(#11)。今季のレギュラーリーグは西脇で始まり西脇で終わった。この勢いでプレーオフも大暴れしてくれ。

「レギュラーリーグ全日程終了！！」

2/1でレギュラーリーグ全日程を終了。順位は我等がクレインズがアジアリーグ発足から連続のリーグ1位、2位は後半から調子を上げたハルワ、3位はコクド、4位王子、5位バ'イキングス、6位バ'ックス、7位カウオン、8位ハルビン、9位チチハルという結果になった。クレインズはレギュラーリーグ38試合で得点240(1試合平均6.3点)失点66(1試合平均1.7点)と爆発的な攻撃力に加え、安定した堅い守りで32勝(2OT勝ちを含む)5敗1引き分けという見事な成績で全チームから勝ち越した。

個人成績

- 得点 -

- 1位 ソンドンファン(ハルワ) 31 得点
- 2位 佐藤 匡史 29 得点
- 3位 西脇 雅仁 28 得点
- 3位 テレク・ブラント 28 得点
- 5位 伊藤 雅俊 27 得点
- 5位 桑原ライオン春男 27 得点



- アシスト -

- 1位 テレク・ブラント 47A
- 2位 ハトリック・マルティネク(ハルワ) 44A
- 3位 伊藤 賢吾 42A
- 4位 伊藤 雅俊 36A
- 4位 ダーシ・ミタニ 36A

- ポイント -

- 1位 テレク・ブラント 75P
- 2位 ハトリック・マルティネク(ハルワ) 65P
- 3位 伊藤 雅俊 63P
- 4位 ソンドンファン(ハルワ) 62P
- 5位 ダーシ・ミタニ 61P



2月11日(土) 日本vsドイツ(長野ビックハット)

ビックハットで行われた長野CUP。全日本代表チームにクレインズからは、賢吾(#3)、ヒデ(#23)、ま~しゃ(#18)、西脇(#11)の4人が選ばれた。初日の試合は、ドイツと2-2のドロー。今回の試合は、ルール改正があり試合開始後の6分間にペナルティが3つ。ほとんどがパワープレー状態。壁際の当たりも少なくなった分、走れる選手には有利??かも。クレインズ戦士達の活躍は、賢吾とま~しゃがWアシスト。試合中もパワープレーのチャンスでは、クレインズの選手を集めたスペシャルセットに変更したりと4人は大活躍。その勢いをプレーオフにも繋げて欲しい。試合後、賢吾キャプテンにプレーオフへの意気込みを聞いてみた。



賢吾【プレーオフは勝ちたいと思います】 思いますとは...弱気ですな?

賢吾【勝ちます！優勝します!!】 力強いキャプテンの優勝宣言があった。(ん??インタビューは無理やりか??いや、そんなことはない!)クレインズファンにとっては、心強い言葉で、5th setの私たちも優勝を信じて、熱い声援で選手たちを後押ししよう!!

2月12日(日) 日本vsデンマーク(長野ビックハット)

長野CUPも最終日。今日の相手は宿敵デンマーク。ソルトークもトリノも、日本の前にはいつもデンマークが立ちふさがり、五輪出場にはならなかった。今日は、その鬱憤をすっきり晴らしてもらわねば!!だが、1ピリ、日本のパワープレー中、逆に1点を取られてしまう。そして、2ピリも開始早々2点目を失う。嫌な展開...だが、それを打開したのは、ルキー西脇(#11)。1点を返し反撃の狼煙を上げ、3ピリで逆転。日本は見事3-2で勝利を収め、長野CUP2

連覇を成した。昨日同様ペナルティの多い試合となり試合終了15秒前には、賢吾(#3)と西脇がミスコンでペナルティ入りとはなったが... テンマーク選手に負けてはいなかった!! ということで、プレーオフには冷静に、力強く、まずは王子を退けて欲しい!!

第73回全日本選手権 札幌真駒内アイスアリーナ

3月3日(金) vs サ-バース穴吹

17-1(5-0,8-0,1-1)

いよいよ勝負の月がやってきた。プレーオフ前にどうしても1冠を取りたい。アジア1になる前に日本1に! 公式戦から遠ざかり心配されていたクレインズだがそんな心配をよそに「JアイスWEST初代王者サ-バース穴吹(香川)」を17対1の大差で破った。

3月4日(土) 準決勝 vs コダ

3-2(0-1,2-1,0-0,1-0) G34 A11 G71 A14-26 G26A3-7

日本一を狙うクレインズに立ちはだかるのは宿敵コダ。過去何度も優勝を阻んできた相手だがもう今までのクレインズとは違う。1ピリ先制されるも2ピリに入り原武(#34)が押し込み同点。続くライオン(#71)が逆転ゴール。その後一進一退の攻防が続くオーバータイムへ。開始早々ペナルティを取られ4人対3人のキルプレー(ルールによりOTは4人対4人)。しかしそれを乗り越え運命の8分29秒。GKの動きが見えたと言うデレク(#26)。見事股下を抜き決勝点。クレインズの1SETの破壊力が証明された準決勝だった。

3月5日(日) 決勝 vs 王子製紙

6-4(0-1,4-1,2-2) G34 A18-3 G14 A26 G14 A26 G14 A26 G71 A14 G20 A71-30

今年全日本選手権は去年と同じ顔ぶれ、日本製紙クレインズ vs 王子製紙。この2チームは共に製紙会社でライバル同士。クレインズは昨年の選手権の借りを、王子は昨年のプレーオフセミアイナルの借りを返すべくアツイ戦いが始まった。先手を奪いたいクレインズであったが開始51秒、王子にゴールを決められ追う展開に。再三のパワープレーも王子の壁に阻まれ、1ピリ終了時は0-1。だが、今季は勢いが違う。2ピリ4分過ぎ、ま~しゃ(#18)のシュートを男・原武(#34)が角度を変え同点。その後王子にリードを許すもアジアリーグ得点ランキング2位の匡史(#14)が9分間でハットトリックを達成し2ピリ終了時には4-2と王子に2点差をつけた。さあ、応援席では紙テープの準備を仕出し、いよいよ最後の20分へ...



がゴールを決め1点差、脳裏に焼きつくのは追いつかれるクレインズの姿か... 否、ドレッドヘアの頼れる男ライオン(#71)がそれを一気に振り払った。3ピリ14分半ばにダスティ-との

1対1を決め、セミアイナルの再現を観客に見せつける。17分過ぎからダスティ-をあげ6人攻撃で攻める王子、次郎(#30)を中心に必死に守るクレインズ。19分過ぎ、キャーが決め1点差。だが、王子の反撃もここまで。ダーシ(#20)がインペイゴールを冷静に決め、後は20:00の表示を待つのみ。10秒前からカウントダウンが始まり、20:00になった瞬間、紙テープが舞い、クレインズ選手・サポーターの歓喜の声が真駒内アリーナに響き渡った。クレインズは前身の十条製紙時代を含め創部58年目にして悲願の初優勝。また、最優秀選手賞には今大会だけでなくアジアリーグでも絶好調の佐藤匡史が選ばれた。



優勝向け結束を高めよ!

昨季セミアイナルを超えたものの後一步のところまで敗退したクレインズ。ファイナルという決勝ラウンドに勝ち進んだが俺達は本当にチームを後押ししてきてくださるのか...。今季クレインズは圧倒的強さでレギュラーリーグを勝ち上がった。それは昨季まで足りなかった結束力が少しずつまとまりかけ、全国どこに行ってもサポーターの力強い後押しがあったからだろう。これから始まるプレーオフ。更なる結束が必要だ。声を出す者、じっと勝利を信じる者、道内、道外すべてのサポーターの結束が。「We are the 5th set of the CRANES」俺達はクレインズの5つ目のセットだ! という思いを込めマフラーを製作することにした。つるっ子で配信しているメーリングリストやHPなどで告知し370本の注文があった。このマフラーを握り締め! 掲げ! クレインズを優勝へ導く。アジアリーグ2005-2006。必ずクレインズは栄光を手にするだろう。夢を勝ち取るだろう。このマフラーに入っている「Win The Dream!!」の言葉どおりに...

プレーオフは俺達についてきてくれ!

今季もつるっ子、そして新たに結成されたつるっ子をサポートしてくれるML組の方たちと力を合わせ、このプレーオフに備えてきた。約3000枚のメッセージ入りの短冊を貼りあわせた横断幕はベンチ裏へ。各選手の名前が入ったのぼりはリソクを半周を埋める。黒いビニール袋で応援席半周が黒く染まったリソクはチームに力を、相手を威圧する。選手入場時には約30万枚用意した紙吹雪が舞い、勇気を与えるだろう。あとはみんなの力が必要だ。このプレーオフも「気合棒」を使い応援して欲しい。気合棒は黒く染める最大の武器。敵を圧倒する音を鳴らしチームを後押しして欲しい。残るは魂の入った声...。それがあれば十分だ。チームの夢は俺達の夢。今こそ勝ち取ろう! 力あわせて!

セミアイナル・ファイナルについて

レギュラーリーグを1位と言う見事な成績で通過したクレインズ! プレーオフはシードチームとしてセミアイナルからの出場。セミアイナルの対戦相手は王子製紙。王子製紙はレギュラーリーグを4位で通過。同じく5位で通過したルディックバ イキングスとファーストラウンドで対戦し、4戦目でセミアイナル出場の切符を掴み取った。このセミアイナルだが3月9・11・12・14・15日の日程で行われる。プレーオフは、各ラウンド5回戦制。一方のチームが3戦先勝した時点でそのラウンドは終了。各ラウンド第4戦、第5戦は開催されない場合がある。第1・2・3戦はここ釧路アイスアリーナ、第4・5戦に纏れ込んだ場合は王子製紙のホームアリーナといった具合で試合が繰り上げられる。勿論、我がクレインズはセミアイナル・ファイナルとも地元釧路で3連勝し、悲願の優勝だ!!!ファイナルの試合日程:3月18・19・21・25・26日



全日本初優勝の笑顔・この感動をプレーオフで再び...

つるっ子通信 2005-2006 Vol. 9 (発行 06.03.09)

作成(つるっ子&つるっ子 ML組)

連絡先 〒084-0905 釧路市鳥取南2丁目1番47号

日本製紙 釧路工場 工務部保全課 寺山博道

TEL 0154-52-7619

Eメール cranes@horae.dti.ne.jp

HP「クレインズ だよ全員集合」 <http://www.horae.dti.ne.jp/~cranes/>

携帯掲示板 <http://www.pstown.com/bbs03/i01.cgi?room=terayama>

メルマガ「居酒屋つるっ子」 <http://mini.mag2.com/>